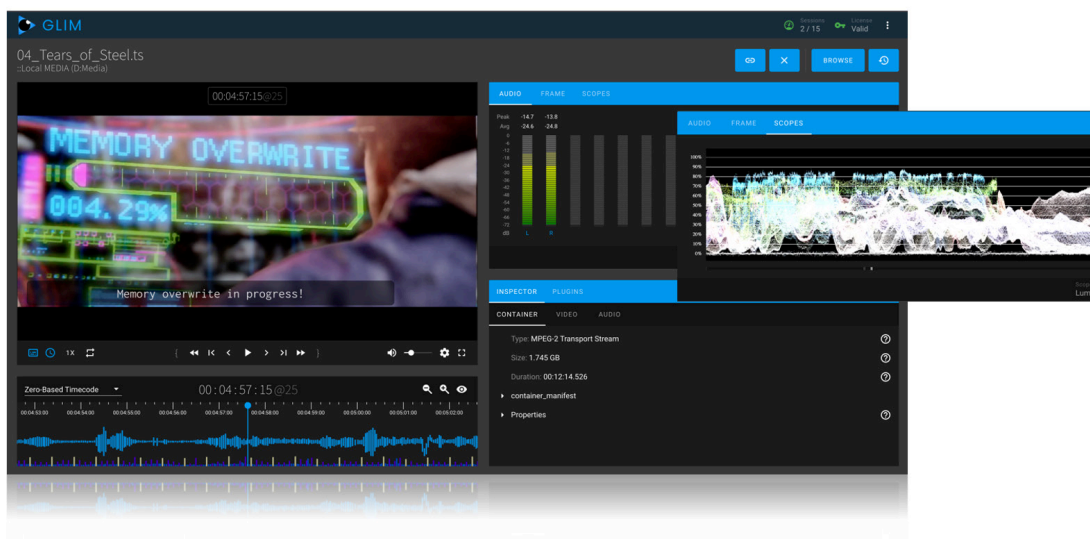




遠隔地のメディアファイルも GLIMでブラウザ再生

再生困難なファイルでも再生。
メザニンやプログレードのメディア
ファイルをウェブでブラウザ再生。

GLIMは、ファイルベースQC、
エンジニアリング、マスターコン
ロール、報道、ポストプロダクシ
ョンなど様々な現場に最適なツール
です。GLIMの再生体験は、リモート
や仮想デスクトップ技術よりもさら
に優れており、GLIMはリモート作
業で毎日何時間もファイルのダウン
ロードに費やしている無駄を省き、
クラウドとオブジェクトベースのス
トレージと組み合わせることで、大
幅なコスト削減を可能にします。

ハイレゾメディアの検索やプロキシファイルの生成に時間がかかり効率が悪いと感じたことはありませんか？一般的なウェブプレーヤーでは対応していない映像に関する詳細情報を見たいと思ったことはないでしょうか。そんな時こそGLIMの出番です。

GLIMは映像のプロフェッショナルが、プロキシファイルを生成することなく、ウェブブラウザから高解像度映像をリモートで再生するために設計されたツールです。GLIMは受賞歴のあるテレストリームのメディアフレームワークを活用し、動画をクリックしたその場でシームレスにエンコードし、世界のどこにいても動画をストリーミング視聴できるようにします。GLIMがあれば、動画がオンプレのサーバー上でも、クラウドのオブジェクトストレージでも、あなたがどこにいてもリモートで動画を再生可能です。

ノンリニア・エディタ風の画面配置とタイムライン表示機能を備えたオペレータフレンドリーなウェブGUIに、アレンジ可能な各種内蔵メーターでオーディオレベルがコンプライアンス規格に適合しているかを確認したり、SCTE-35マーカと波形ビューでフォーマットの整合性を確認することが可能です。GLIMがあれば、どこにいても数クリックですべてを確認することができます。

- GLIMは、ウェブブラウザでメザニン／プロフェッショナルグレードのメディアファイルをリモート再生できる画期的な技術です。
- GLIMエンジンは、当社のSwitch再生・検査技術に基づいて構築されており、ウェブブラウザ（WindowsまたはMac OS、Google Chrome v80以上）で、あらゆるコンテナ/コーデック/解像度/fps/オーディオチャンネル/色空間の組み合わせでもリモートでの再生を可能にします。



GLIMの仕組み

GLIMはサーバーアプリケーションとして実行されユーザーが "Play" ボタンを押すと自動的にエンコードを開始し、止めると停止します。再生品質とビットレートはユーザーが設定可能で、遠隔地の視聴者にもシームレスな体験を保証します。

選べる3つのサーバータイプ

GLIMはWindows Server用アプリケーションであり、商用ハードウェア、クラウドベースのコンピューター、またはテレestream専用のハードウェアプラットフォーム "GLIMアプライアンス (Gen2)" 上で実行することができます。商用ハードウェアを利用する場合は、CPUのみの利用で最大5つの同時セッションが可能、GLIMアプライアンスを利用する場合はオンボードのデュアルGPUを利用することで最大15同時セッションが可能になります。

- テレestream GLIMアプライアンスは、オンボードGPUアクセラレーションを利用した効率的な1Uサーバーで、最大15の同時リモート再生セッションを可能にします。
- 標準的な商用サーバー上でもGLIMを実行することができ、最大5つの同時再生セッションが可能です。
- ユーザー自身でクラウドのコンピューター上にGLIMを実装することも可能で以下の2つのオプションがあります。
 1. CPUのみのインスタンスを使用する場合は、最大5つの同時セッションが可能
 2. Nvidia GPUをサポートするインスタンスを利用する場合、最大15セッションまで同時実行が可能

推奨サーバー仕様

GLIMエンジンはWindows Server 2016またはWindows Server 2019上で動作

- 推奨システム構成（最大5×HDファイルまたは2×4Kファイルの同時再生に対応*）：CPU24コア以上（2.6GHz以上）、24GB以上のRAM、1Gbps以上のストレージアクセス
- 最小システム構成（HD×2ファイルの同時再生に対応*）：8CPUコア（2.6GHz以上）、16GB RAM、1Gbps以上のストレージアクセス

*25fps低解像度へエンコード・再生した場合



再生機能

- SwitchまたはVantageが再生・デコードできるあらゆるメディアファイルの再生に対応
- オープンファイルとクローズドファイルのサポート
- キーボードショートカット（J/K/L/スペース/矢印）でヘッドスクラブとフレームステップ再生
- マルチチャンネル・オーディオ（5.1）ソースからのサラウンドミックスダウンとサラウンド出力が可能
- 選択可能なオーディオ・チャンネル：ソースメディア内のどのチャンネルでも聴くことが可能
- メディアファイルのアンシラリデータを表示：タイムコード、クローズド・キャプション（608/708の全サービス）に対応
- 画像ファイル再生・表示：
(.dpx .tiff .tga .jpg .gif .png .bmp アニメーション GIF)
- オーディオのみの再生：
(.aiff .wav .m4a .mp3 .f4a 音声のみ.mov)
- 複数のサイドカー・キャプションファイルを読み込み、ソース素材（SCC、SRT、TTML、VTT）に対して再生可能
- サイドカー・オーディオのサポート：別々のオーディオを持つメディアファイルとビデオを同期して再生可能
- ビデオ画質の選択：各ユーザーが再生するメディアの画質を決定
- ニールセン・オーディオ・ウォーターマークのサポートを強化：オーディオ・ストリームでニールセン・ウォーターマークを検出する際のパフォーマンスが向上
- クラウド・オブジェクトストレージのサポート：AWS S3、S3互換、Google GCP、Microsoft Azure Storageをサポート

GLIMアーキテクチャ

GLIMは、帯域幅が非常に制限されたインターネット環境（例：企業VPNに接続しながら自宅で作業する場合）でも高解像度、高ビットレートのメディアファイルを再生するように設計、デザインされています。GLIMクライアント側の帯域幅（2-8mbpsが一般的）は適宜設定可能

- HTTPおよびHTTPSプロトコルを利用(ポート：5000/50001をデフォルトで使用)
- 複数ユーザー認証に対応
- 特定のディレクトリへのアクセスを制限可能

プラグイン・アーキテクチャ

GLIMエンジンには、ウェブサービス(REST)呼び出しを介してVantage やその他のサードパーティ製システムと相互作用するためのプラグインアーキテクチャが含まれています：

- 既存のVantageシステムと連携しメディアファイルを送信するためのサンプルプラグインを同梱
- メディアファイルの再生リンク（UIでイン/アウトポイントを設定可能）を組織内の他のユーザーと共有可能
- ソースメディアの高解像度画像のダウンロードと共有が可能

GLIM2の新機能

- ユーザーインターフェイスを一新しビデオがより見やすいレイアウトへ変更
- ズーム可能なミニタイムライン、選択可能なオーバーレイ（GOP / SCTE 35/104 & Neilsen透かし）付き
- オリジナルのクリップとのリンク機能により、インポイントとアウトポイントを選択して簡単に他のユーザーにクリップを送信可能
- ライブ編集機能 "クリップ" ペインの実装
- キーボードショートカットの強化
- ルマスコープ、ベクトルスコープ、RGBパレード（技術評価版）
- シルバークレードのエンタープライズ・サポートを含む

